

第73回秋季東北地区高等学校野球大会 感染予防対策ガイドライン

令和2年 9月14日

宮城県高等学校野球連盟

1. 開催中止の判断

- ① 政府または県からの「緊急事態宣言」が発令された場合は中止とする。
- ② 各県教育委員会や各市町村教育委員会から、部活動の大会自粛の指示が出た場合は、当該県・市町村の出場校は出場を自粛し、不戦敗とする。
- ③ 大会前、大会中に関係者から感染者が発生した場合は、日本高野連が策定した対応表に沿って、次の通りとする。

	感染者が発生した場合の対応	濃厚接触者（家族や職場などで感染者が出た）となった場合の対応
大会役員 審判委員	感染者以外の大会役員、審判委員が感染者とどのような接触歴があったかを確認する。濃厚接触者の場合は判明日から2週間は自宅待機とし、別の大会役員、審判委員が運営にあたる。	当該者は2週間の自宅待機とする。 2週間経過後、高熱などの症状が出なかった場合は復帰可能とする。
指導者 部員	感染者以外の濃厚接触者の行動歴を割り出す。感染者以外の指導者、部員は基本的に濃厚接触者になると思われるため、参加校は試合への参加を自粛する。	濃厚接触者は2週間の自宅待機とする。 それ以外の指導者、部員で試合に参加できる。

2. 出場者・入場者の健康管理

- ① 出場者は検温と健康観察を継続して行うこと。また2週間前からの行動歴（いつ、どこに行き、誰と会ったか）を記録しておく。
- ② 大会参加について、保護者の同意を得てから「選手資格証明書」を作成し、同意の得られない生徒は大会には参加・引率しない。
- ③ 大会2週間前より、高熱が発生した選手がいた場合は、練習に参加させず医療機関での受診を勧める等の措置をとる。
- ④ 入場者には厚生労働省が開発した新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録を推奨する。登録がない方には氏名・連絡先の記入をお願いすること。検温の結果、37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りする。

3. 抽選会・開会式・閉会式

- ① 組み合わせ抽選会は、10月7日（水）にリモート抽選によって実施する。各県代表3校は、所属県連盟の指定された場所に集合し、主管県である宮城県高野連の進行で抽選会を進める。
- ② 2試合日は10時と13時、3試合日は9時と12時と15時とし、球場に多くの部員が密集しないように配慮する。開会式は行わない。閉会式は簡略化して行う。

4. 試合

- ① チーム毎にマスク着用を励行し、手指消毒を行う等の感染予防に努める。
- ② 道具については試合前後の除菌消毒を徹底する。
- ③ 飲料水やタオル等は個人専用とし、共用で使用するカップ等は使用しない。
- ④ 投手が使用するロジンについては、ポケットに入れて使用する。
- ⑤ 円陣を組んでのミーティングや試合前後の挨拶は自粛する。タイムをかけて話し合う場面では、グラブで口を覆ったり、対面で話すことがないように工夫する。また、ハイタッチ等の接触を伴う行為は自粛する。
- ⑥ 試合前のメンバー表交換の時間はそれぞれ試合開始の1時間前とする。
- ⑦ 前の試合が早く試合終了しても、2試合目の試合開始を早めず、2・3試合目のベンチ入りはベンチ消毒完了後とする。消毒に時間がかかるため、試合間隔を最低45分間は空けることとする。
- ⑧ 試合前後の挨拶は、発声を自粛し一礼のみとする。
- ⑨ 試合前、シートロック後、5回終了時、試合後のグラウンド整備は当該校で行う。
- ⑩ 試合後は、ベンチ内の除菌作業を責任教師同席のもと当該校で行う。
- ⑪ ボールボーイ係3名、ファウルボール係3名については当該校から出し、BSO・アナウンスについては宮城県高野連で担当する。
- ⑫ 部員数が少ない学校については、3年生部員の補助員（ボールボーイ等）を認める。
- ⑬ 試合後の校歌斉唱は適度な間隔を保った上で行う。

5. 応援・観戦

- ① 入場者からは(1)個人情報(氏名・住所・電話番号)の提供、または(2)新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録、を確認し、検温・手指消毒を行った上で、入場料(大人600円、シニア300円)をいただいて入場を許可する。ただし、仙台市民球場(3,000人)、石巻市民球場(内野700人、外野2300人)の入場制限を設ける。提供された個人情報は感染が確認された場合の、追跡調査のみに使用する。ただし、今後の感染状況によっては無観客試合となることもあり得る。
- ② 入場者は、スタンドで両手が届かない間隔を空けて着席し、試合を観戦することができる。立ち上がり声を出しての応援は自粛し、拍手のみ(手拍子可)とする。ハイタッチや得点時に座席の上に立ったり、一カ所に集まる行為、タオルを回す行為がないように事前告知を行う。
- ③ 以上②・③を徹底するため、以下の内容をHPや報道等を通じて周知徹底を行う。
 - ・ 今大会は入場者を制限した有観客試合とする。
 - ・ 入場者の上限は、仙台市民球場(3000人)、石巻市民球場(内野700人・外野2300人)とし、これを超える場合は入場をお断りする。
 - ・ 次の者は入場を許可しない。

- ① 過去1週間以内に(1)体温37.5℃以上(2)強い倦怠感(3)咳・咽頭痛・息苦しさ(4)味覚・嗅覚異常などの体調不良があった方。または家族に(1)～(4)の体調不良者がいる方。
- ② PCR検査で陽性歴があり、発症日から10日未満で、かつ、2回のPCR検査で陰

性を確認できない方。

- ③ 濃厚接触者として自宅待機中の方、もしくは家族が濃厚接触者として自宅待機中の方。
- ④ 海外から帰国（日本に入国）して14日以内の方。
- ⑤ マスク非着用の方。
- ⑥ 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録をしていない方で、氏名・連絡先記入にご協力いただけない方。

・ 入場並びに観戦時のお願い

- ① 入場時にはマスクを着用し、検温の協力をお願いします。
検温の結果37.5℃以上の発熱のある方は、入場をお断りします。
 - ② 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」に登録しているかを確認します。登録していない方は、観戦者の氏名・住所・連絡先の記載に協力をお願いします。
 - ③ 入場料として大人600円、65歳以上300円をいただきます。手指消毒の上、半券を提示して入場してください。
 - ④ 観戦中の座席は、必ず1席以上の間隔を空けて着席して観戦してください。立ち上がった時、声を出しての応援は自粛していただき、拍手での応援にとどめてください。
- ※ 上記の事項を遵守いただけないお客様には、退場をお願いすることがございます。

6. 報道への対応

- ① 報道各社には、1社1球場あたりの取材者人数を限定し、報道受付で入場申請書を記入した後は、原則スタンドで取材を行う。大会本部に原則報道席を設けない。
- ② 試合前の選手や監督への取材は禁止する。また、試合後の取材については、各チーム1名以内の指名選手を大会本部で取りまとめ、各校の責任教師の了解を得た後5分以内で行う。指名選手以外の取材は必ず責任教師の許可を得て実施する。選手の電話番号を聞くようなことは教育上好ましくなく禁止とする。
- ③ 大会前の参加校への取材については原則禁止する。取材の必要がある場合は、責任教師を通じて各学校長の許可を得たのち実施する。

7. 大会運営

- ① 運営委員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。大会本部は密集を避ける工夫を施し、パソコンやアナウンスマイク等は使用者が代わる度に消毒する。
- ② 宮城県高野連加盟校の部員が補助員として業務にあたる場合は、必ず保護者の承諾を得る。
- ③ 球数制限の運用を2回戦以降行う。試合前に投球実績表を責任教師に配付し球数を確認し、1週間内に500球を越えないように選手の健康管理に努める。準々決勝以降は、当日登板した投手全員を対象に、関節機能検査を実施する。
- ④ 大会本部に看護師を常駐させる。来場者の中に発熱や体調不良など感染が疑われる人が出た場合は検温を行い、疑いがあるようであれば保健所の電話相談窓口連絡して指示を受ける。
- ⑤ 審判員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。審判員への給水は審判団に依頼する。感染予防のため、タオル提供は行わない。